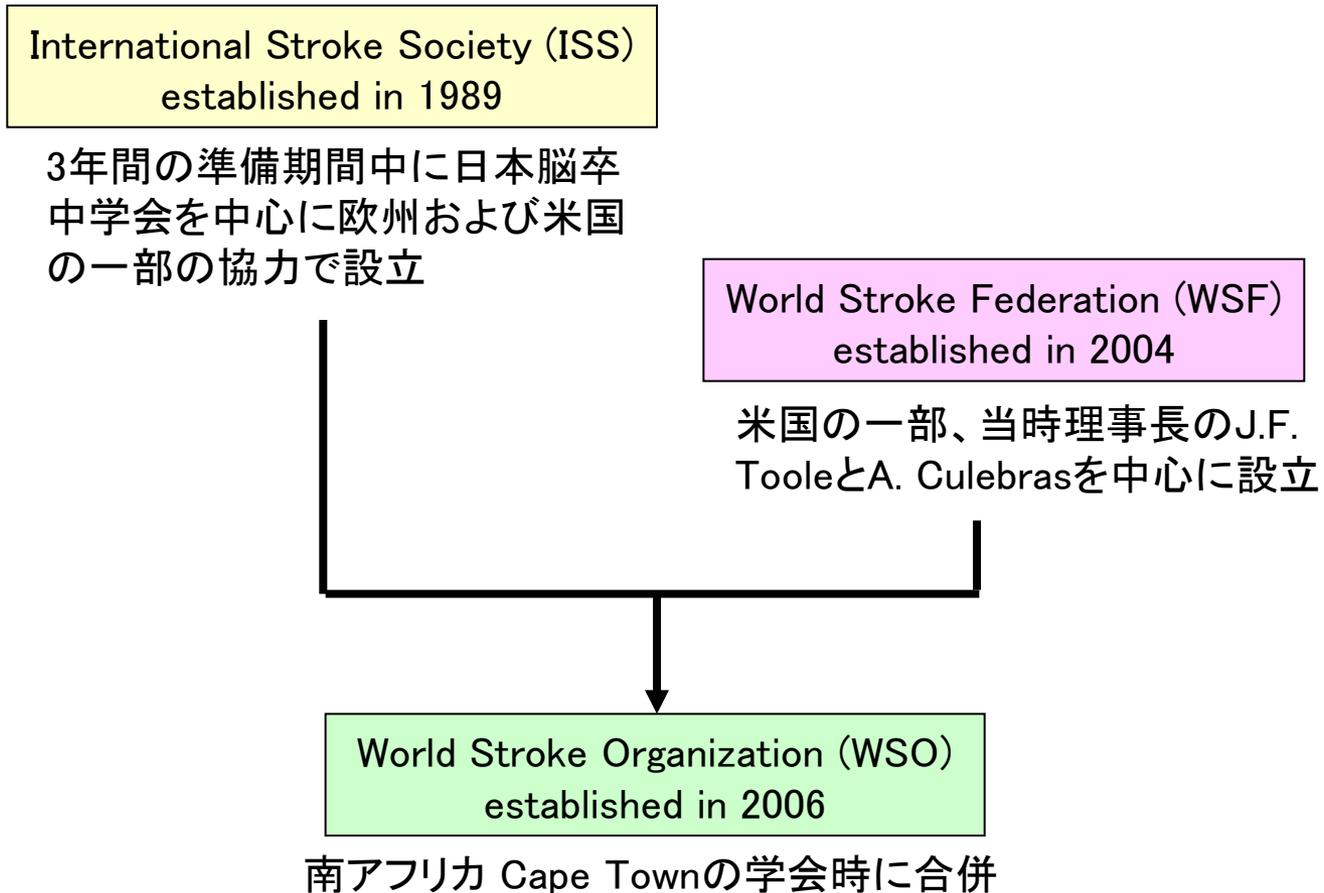


International Stroke Society (ISS) 設立の経緯

	日本脳卒中学会	日本以外の脳卒中関連学会
1960年代	脳卒中の実態調査、予防対策、成因究明の基礎医学的な研究の必要性が叫ばれるようになる	1954年 Princeton Conference 1965年 CBF 1970年 “Stroke”誌創刊
1976年	日本脳卒中学会設立 (会長 相澤豊三) 参加者 1,000名	The 1 st Joint Meeting of Stroke and Cerebral Circulation (AHA Stroke Council) 参加者 350名
1985年	会員数4,000名に成長	
	相澤先生により世界脳卒中会議開催および国際脳卒中学会設立の提案 他の国際会議との連携をよくして総合的な学会として国際脳卒中学会を位置づける	
1986年	日本脳卒中学会を代表して相澤先生より世界の主要な研究者20名に親書を出し、国際脳卒中学会設立の了承を得る。	
	国内組織委員会の編成: 会長:相澤豊三 事務総長:尾前照雄 学会設立および学術総会の詳細の交渉が始まる	
1989年	世界脳卒中会議開催・国際脳卒中学会設立	

世界脳卒中学会 (WSO) とその学術集会 (WSC) の歴史 (1)



世界脳卒中学会 (WSO) とその学術集会 (WSC) の歴史 (2)

学術組織	開催回数	開催年	開催地	学術大会長	理事長
ISS	1	1989	京都	相澤豊三	
	2	1992	ワシントン	J. F. Toole	H. J. M. Barnett
	3	1996	ミュンヘン	T. Brandt	W-D. Heiss
		1999	横浜*	篠原幸人	
	4	2000	メルボルン	S. Davis, G. Donnan	後藤文男
		2000	トビリシ(グルジア)*	R. Shakarishvili, A. Razumovsky	
		2002	ブエノスアイレス*	C. J. Estol	
		2002	ニューヨーク*	J. P. Mohr	
	5	2004	バンクーバー	J. Norris, V. Hachinski, P. Teal	J. F. Toole
		2004	南京*	X. Liu, J. Bogousslavsky	
ISS+MSS*+SASF**		2006	ケープタウン	W. Hacke, N. Bornstein, V. Fritz	山口武典 (ISS), A. Culebras (WSF)
WSO	6	2008	ウィーン	M. Brainin	G. Donnan
	7	2010	ソウル	J. K. Roh	B. Norrving
	8	2012	ブラジル	A. Massaro	
	9	2014	イスタンブール		S. Davis
	10	2016	アジア(予定)		

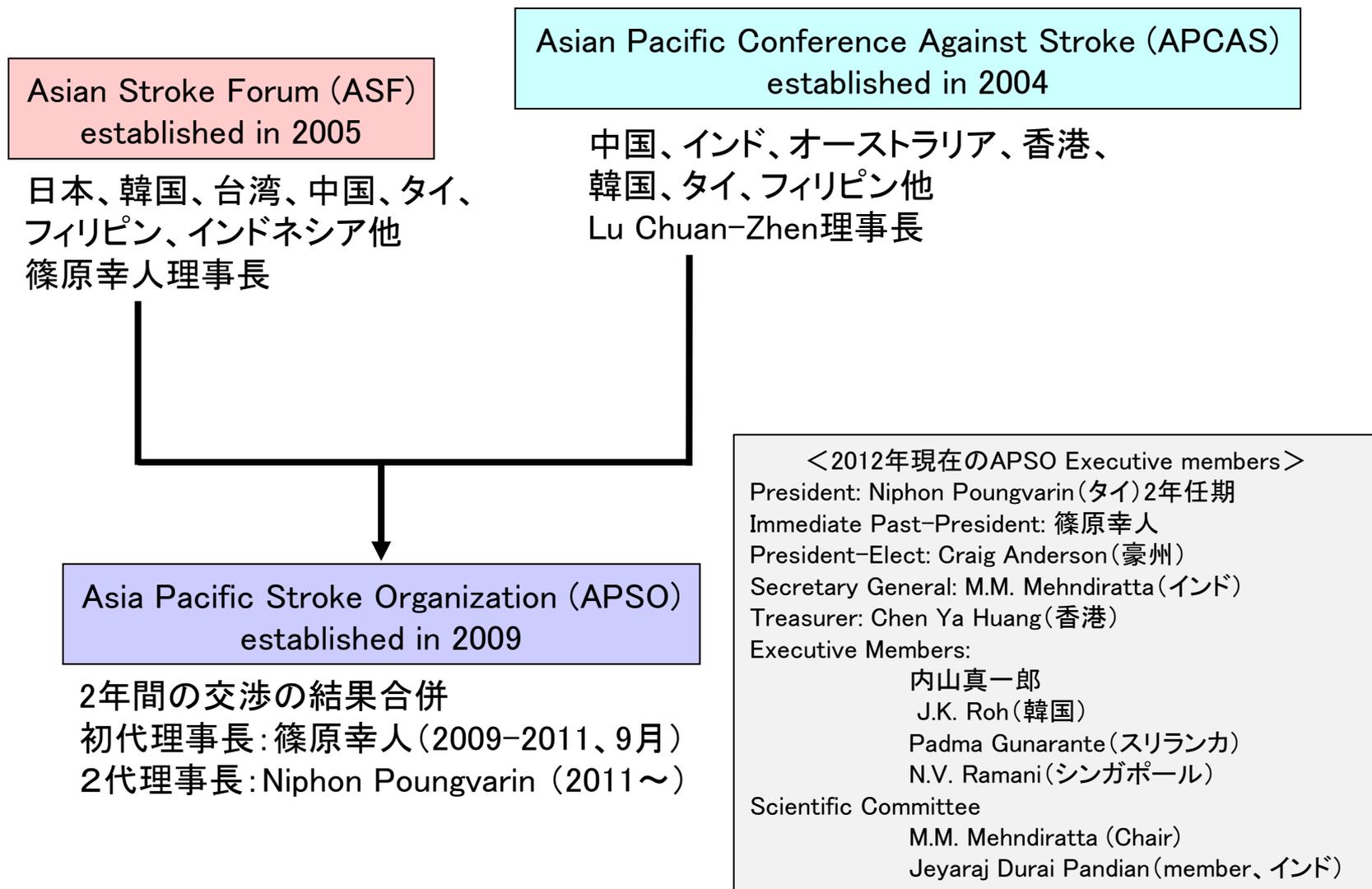
* regional meeting

** Mediterranean Stroke Society

*** Southern African Stroke Foundation

(篠原幸人先生・山口武典先生 監修)

アジアオセアニア脳卒中学会 (APSO)とその学術集会(APSC)の歴史(1)



アジア・太平洋脳卒中学会 (APSO) とその学術集会 (APSC) の歴史 (2)

